

特定外来生物 ウチダザリガニ報告

はじめに

曲沢上流域の沼（レイクウッド沼）が裏磐梯地域での繁殖地の一つであることはまちがいないと思われる。そこでの駆除活動は継続しながら、他のウチダザリガニ繁殖地を調査する活動をした。また、コカナダモの駆除がウチダザリガニにどのように影響するのか推移をみることにした。

今年度は休暇村キャンプ場を使用し講座「特定外来生物ウチダザリガニをさぐれ」（講師：五十嵐 悟氏）を主催、観光協会主催の「ウチダザリガニグランプリ」企画の中で児童・保護者参加でウチダザリガニについて知識を持ってもらうために、長瀬川にかかる五色橋たもとで砂川光朗講師による「ウチダザリガニを触ってみよう」や村内小学校への課外プログラム協力など次世代に向けた特定外来生物講座を開催した。

調査日

平成30年5月29日・7月4日（出前講座）・18日・20日・29日（講座）
8月19日（講座）・10月23日・

調査方法

前日に沼や川に餌を入れたかごをかけて翌日引き上げて捕獲する

調査範囲

曲沢上流域の沼（レイクウッド沼）、曲沢沼脇の小さい沼、村道曾原線築部沢側3箇所、休暇村側1箇所、長瀬川にかかる五色橋たもと

考 察

レイクウッド沼が昨年、コカナダモを駆除したので、どう変化していくのかを調査を継続していかなければいけない。沼の水抜きが実現できなかった。昨年10月の終わりに確認したかった抱卵状態の様子を、今年確認する事が出来た。曾原湖の流出口からは休暇村内を通り、キャンプ場脇の人工池～長瀬川に合流して小野川湖に流入するルートがあり、その支流が村道曾原線沿いの通称（堤防沼）と呼ばれる沼①に流れている。村道築部沢山側にある華蔵沼②・ジュンサイ沼③・小野川遊歩道奥より流出して小野川湖に流入している小川を調べた。小野川湖・桧原湖もどの程度少なくなっているのかも再確認する必要があるが今年ではできなかった。小野川～流出して五色橋付近で捕獲できる個体がどこで繁殖しているのかを駆除活動を継続しながら、次年度調査し、裏磐梯のウチダザリガニの生息状況について把握することに努めたい。なお今年度は、裏磐梯観光協会が8月にウチダザリガニプログラムを1回実施するにとどまったため、また曲沢での個体の減少傾向がなくなった。観光協会のプログラムによっては今後の増加が懸念されるので、曲沢上流域の沼での駆除活動を強化しなければならない。また他の場所への流出も考慮しもちだし禁止の看板の件等話し合っていきたいと思う。

調査者

担当：真野真理子 立花千秋